

4月に始まった令和4年度、あっという間に、7月まで来てしまったような気がしていますが、皆さんはどうですか。

4月から7月の今日まで、授業日数は69日間でした。4月8日の始業式、入学式に始まり、学校市の歓迎会、5月の連休明けには運動祭があり、市民大会もありましたね。そして、地区中総体各種大会、陸上大会、駅伝大会があり、7月11日には授業参観もありました。そしてもちろん、毎日の勉強や普段の生活があり、振り返ってみると、中身は盛りだくさんで、本当に充実していたように思います。

今年度からの2学期制により、今日は一人一人に通信票を渡しません。皆さんの4月から7月までの生活や学習の様子は、夏休み中の三者面談の時に、担任の先生方からお話しさせていただきます。

勉強を頑張った人、友達に優しく接してくれていた人、こつこつと係活動を頑張っていた人、部活動に一生懸命取り組んだ人、昨年度に比べて落ち着いて生活できるようになった人、去年に比べて手をあげたり発言することがどんどん増えた人……。そんな皆さんの成長と、でもこんなところは今後努力してほしいということについても三者面談でお話しできればいいなと思います。

さて、いよいよ、明日から34日間という長い夏休みとなります。1ヶ月以上も休みが続く・・と書いていても、なぜか「あっ」という間に終わってしまうのが夏休みでもあります。

それぞれにやるべきことがあるはず。自分で計画を立てて、この貴重な時間を有効に使ってほしいと思います。特に、3年生の卒業後のことに向けての取りかかりは、早ければ早いほどよい結果に結びつきます。

夏休みはなかなか先生方やおうちの人に注意されることもありません。ある意味自由かもしれません。でもね、だからこそ、自分でしっかりと目標をもって生活してほしいと思います。注意されなくても自分でできるようになることはとても大きな成長です。

夏休みの生活について、校長先生からお願いがあります。1番のお願いは、「命」を大切にしてほしいということです。ウクライナでの子どもをはじめ多くの人々が犠牲になっている悲惨な状況、また、国内でも子どもたちが交通事故に巻き込まれたり、遊泳禁止の場所で遊んでいて川で溺れたりしたニュースを見るたびに心が痛みます。気仙沼中学校の学区は、市内でも1番の交通量かもしれません。町中(まちなか)を歩くとき、そして自転車に乗るとき、本当に注意してほしいと思います。

また、人によっては海に行く人、釣りが好きな人もいるかもしれません。校長先生も泳いだり、釣りをすることが大好きです。でも、1つ自分に言い聞かせていることは、「決して無理をしない。」ということです。自分の体調を気にしたり、天気予報を気にしたり、これは危険じゃないかなと予測するようにしています。

「命を大切にすることを守った上で、楽しく充実した最高の夏休みにしてほしいと思います。

夏休み明け、学校が始まるのは8月24日です。全員そろって元気にみんなで会いましょう。さて、夏休み明けにはどんな楽しいことが待っているのでしょうか。そのことを楽しみにして、お話を終わります。

令和4年7月20日 気仙沼中学校 校長 斎藤博厚